



こども園だより

7月号

令和 8年 7月 1日
荒川区立汐入こども園
園長 天野 英幸
☎3801-7285

子どもたちの興味は？



5歳ぞう組 石を集めよう

「すいかの名産地」

作詞：高田三九三 アメリカ民謡

ともだちができた すいかのめいさんち
なかよしよし すいかのめいさんち
すいかのめいさんち すてきなところよ
きれいなあのこの はれすがた
すいかのめいさんち

園長 天野 英幸



先日、5歳児の誕生会で『おじさんのかさ』という絵本を読みました。傘を大事にするおじさんは、どんなに雨が降っても傘をさしません。そんなある雨の日、「あめがふったらポンポロロン、あめがふったらピッチャンチャン」子どもたちが雨の音を楽しみ歌っている様子を見て、思わず傘を開いてしまうというお話です。雨が多かった6月、園庭からみんなの「ピッチャンチャン」が聞こえてきました。

5歳児ぞう組で静かなブームになっている石集め。登園時に一人の子がきれいな石を拾ってきたことが始まりで、今では保育室の一角に石博物館ができるまでになりました。同じ種類をプリンカップに分けて図鑑で調べたり、表面を電子ルーペや顕微鏡で見たり、魚の鮭に似た色だから「しゃけ石」、角ばっているから「はこ石」と自分たちで名前を付けたり、まるで地質学者のような活動が続いています。

2歳児の部屋ではカブトムシが、3歳児の部屋ではアゲハチョウとカブトムシがさなぎから羽化し、子どもたちを喜ばせました。年齢を問わず根強い人気を誇るダンゴムシは、毎朝、手をグーにして登園する子によって日に日にその数が増えています。お世話は、先生に手伝ってもらいながらも自分たちで頑張る姿があり、生き物を育てる楽しさとともに、小さな命を大切にすることがつなげています。

いよいよ7月、後半には夏の休みに入る子もおり、今から何をしようかと計画を立てているご家庭も多いことでしょう。夏は子どもたちが大きく成長を遂げる時。その糧となるたくさんの経験ができるとよいと思います。園でも夏ならではの活動にチャレンジしながら、できること・楽しかったことが日々一つでも増えるように保育の充実を図って参ります。夏の暑さを楽しさに変えていけるといいですね。

親子で家読(うちどく)を！

今年も夏のお休みに、「うちどくノート」の取組を行います。お子さんと一緒に絵本や物語を読んで、楽しかった場面の絵や感想などを記録してください。選書はわくわくルームからでも、ご家庭にある本からでも構いません。暑い夏、涼しい部屋で物語の世界を楽しんだり、お気に入りの本を読みながら、ゆったりと時間を過ごしたりしてみたいかがでしょうか。詳細については、後日お知らせいたします。